



東芝インフラシステムズ

岡庭 文彦

計装機器
事業統括

東芝インフラシステムズは、長年培ってきた基盤技術やノウハウをIoTを組み合わせたソリューションを顧客ニーズに合わせて提供している。19年は「技術で差別化した製品を顧客に届ける」をモットーに、さらなる事業拡大を目指す。



計装機器
事業統括

同社は東芝からの会社分割以降、社会インフラ事業を担う企業として産業システムや公共インフラ、ビル・施設への幅広いソリューション提供を通じて、安全・安心で信頼できる持続可能な

な社会の実現に貢献している。

18年は産業用コンピュータが事業のスタートを切った。19年は産業用コンピュータが事業のスタートを切った。19年は産業用コンピュータが事業のスタートを切った。19年は産業用コンピュータが事業のスタートを切った。

計装事業が堅調に推移

産業用コンピュータ30周年さらに拡大

投資が続き、好調に推移している。放送機器も地産地消を目指すと話している。

18年に発売したラック型産業用コンピュータ「FR21」は、産業用コンピュータの主流がIoT。近年、同社でもIoTやクラウド型産業用コンピュータ「FR21」は、産業用コンピュータの主流がIoT。近年、同社でもIoTやクラウド型産業用コンピュータ「FR21」は、産業用コンピュータの主流がIoT。

19年は産業用コンピュータが事業のスタートを切った。19年は産業用コンピュータが事業のスタートを切った。19年は産業用コンピュータが事業のスタートを切った。19年は産業用コンピュータが事業のスタートを切った。

また、産業分野での新製品開発も進んでいる。また、産業分野での新製品開発も進んでいる。また、産業分野での新製品開発も進んでいる。また、産業分野での新製品開発も進んでいる。

また、産業分野での新製品開発も進んでいる。また、産業分野での新製品開発も進んでいる。また、産業分野での新製品開発も進んでいる。また、産業分野での新製品開発も進んでいる。